

第三種郵便物認可

柿崎中1年生

働く人をパチリ 仕事の魅力実感

写真集作り来月発表会

上越市柿崎区の柿崎中が生徒に勤労、職業意識を持ってもらおうと、二十日、一年生を対象に同市内にある国の出先機関や大学、水族館などで働く人の思いに触れ、写真で表現する体験授業を行った。生徒は熱心にメモを取りながら話を聞き、真剣なまなざしで、働く人々へカメラを向けていた。

授業は同中と上越教育

働く人の思いや姿を表現しようと、カメラを向け取材を進める生徒。上越市の直江津駅前商店街



大の大学院生らが協力し、プリントを付けて写真集を作製して企画。生徒は撮影した。ポスターも作製し、写真に取材を基に、コメ三月に取材先の職員や保

護者らを招いて発表会を行う。

直江津駅前商店街では、宿泊施設や販売店などを訪ね歩き、カメラマン役が、構図を考えながら丁寧にシャッターを押した。

その傍らではインタビューアが「どうして今の仕事に就いたのか」「働く上で必要な心掛けは」

と疑問、質問を次々にぶつけていた。

商店街で取材していた佐藤拓君(三)は「話を聞くのは難しかったけれど、いい写真がいっぱい撮れた。働くことに魅力を感じました」と充実した表情だった。

取材を受けた直江津駅前郵便局の佐藤敏夫局長は「真剣に仕事を考えている様子が伝わってきました」と感心して話していた。

妙高市「あっぱれ逸品」 新たに4品認定

タラの芽など太鼓



妙高山のふもとで生産する「あっぱれ逸品」として認定された4品を、同市役

が、今年賞れがド新ラ、妙高を妙